

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	4572000513		
法人名	特定非営利活動団体 あおぞらの会		
事業所名	グループホームあおぞら		
所在地	宮崎県児湯郡都農町大字川北18922-3		
自己評価作成日	平成23年1月18日	評価結果市町村受理日	平成23年3月23日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://kouhyou.kokuhoren-miyazaki.or.jp/kaigosp/infomationPublic.do?JCD=4572000513&amp;SCD=320">http://kouhyou.kokuhoren-miyazaki.or.jp/kaigosp/infomationPublic.do?JCD=4572000513&amp;SCD=320</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎市原町2番22号宮崎県総合福祉センター本館3階		
訪問調査日	平成23年2月16日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

小集落民家の中に建っており、一年中四季を感じられる静かな環境にあります。また、ベランダからは海を見る事ができ、利用者の方々が自然豊かで穏やかにゆったりと過ごす事ができるホームです。  
職員全員が理念に沿いながら、利用者一人ひとりに応じたケアができるよう、また、利用者の笑顔が見られるように日々心掛け、利用者本位の対応ができるよう取り組んでいる。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

ホームは、都農町の国道10号の西、なだらかな丘陵地帯の斜面に位置し、遠くに海が望める。静かな集落にあるそのホームには、あずまやを伴った広い木作りのベランダがあり、開放感があふれている。周囲には数多くのプランターに季節の花々が見られた。地元出身の管理者を中心として、気配りのいき届いた、かつ、笑顔に包まれたケアがなされており、利用者の穏やかな表情とともに緩やかな時間の流れを感じられた。管理者のケアへの熱意は各職員に十分浸透し、研修も盛んであり、資格取得への意欲が旺盛である。また、地域との交流は活発で、小学校との相互訪問や家族会によるボランティア、近隣の方々の防災活動への協力につながっている。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の意味を理解共有し、全職員でサービス向上に努めている。	地域密着型サービスを基盤とし、「個人の思いに寄り添い温かな家庭的雰囲気大切に、ケアの実施に当たっては笑顔を絶やさない」という理念の共有と実践がなされている。	理念が3項目見やすい場所に掲示されている。ただ、各項目が若干長い文章であるため、唱和や言葉にするにはやや難である。理念を踏まえて、簡潔に表現するなどの工夫を期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域の行事や活動に可能な限り参加して交流を図っている。	地域の行事や活動への参加に加えて、長年小学校との相互交流があり、児童のお礼の便りが掲示されていた。隣近所との付き合いも日常的に行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方の相談に応じたり、介護施設の情報を紹介している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状況や取り組みの報告、外部評価報告を行い、そこで得た意見をサービスに活かせるように努めている。	運営推進会議は定着し、ホームの活動・行事の報告、外部評価の結果等について報告と話し合いがなされている。口蹄疫の影響で平成22年は3回実施されたが、平成23年は4～5回をめざしている。また、民生児童委員の参加も予定している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議以外では、行政の担当窓口や地域包括支援センター等に電話での情報提供を頂いている。	地域包括支援センターとの連携により、高齢者介護にかかわる人々を対象とした勉強会を実施するなど、行政の支援を得てケアサービスの向上を目指した協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わないと全ての職員が認識している。 日中は玄関や居室には鍵をかけていない。	身体拘束防止の意識を常に持つように、職員会議(月2回)の議題にあげている。また、管理者も研修や同業者による勉強会などで気持ちを新たにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法について勉強会等で学ぶ機会を持ち、施設での管理体制に十分注意を払っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会やリーフレット、文献等で知識・理解を深めている。 必要時は関連機関と相談しながら実施できる体制をとっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者や家族が十分納得し、契約できるように時間をかけて不安や疑問に対応し、説明した上で契約・解約できるように心がけている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱や相談窓口を設け、直接意見が聴ける雰囲気づくりを心がけている。また、家族の代表者に家族の意見が反映できる体制ができています。	利用者は、地元の人が多く、家族会も機能している。家族会の意見を受けて、「職員の写真と一言コメント」を掲示した。家族会がボランティアでホーム周囲の掃除を行ったりするなど、相互に好ましい関係が築かれている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議、毎日の申し送り、ミーティング時に機会を設けている。 必要に応じて個人面談などを行っている。	職員会議が月に2回行われ、その際、代表者も時折出席し、職員と意見交換をしている。職員の意見を取り入れ、シフトの見直しを行った実績もある。職員からも、管理者への相談はしやすいとの話が聞かれた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、管理者、職員個々の状況を把握し、向上心が持てるような環境づくりを心がけている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の計画を作成し、一人ひとりの力量が発揮できるよう取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡協議会、ブロック別研修会、懇親会等に参加、他事業所と互いに意見交換し、サービスの向上に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に本人や家族にホーム内の雰囲気等を見て頂いたり、必要時には自宅又は入院先を訪問し、状態の把握を行うなど、信頼関係を築き安心して入居頂けるよう心がけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の思いを十分に受け止めて相談にのれるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	かかりつけ医の情報や本人、家族からの情報を踏まえ、もっとも適したサービスが受けられるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	全職員が共に暮らす家族という意識を持ち、お互いに支えあう生活を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族には利用者の暮らしぶりや健康状態等を知らせ、家族と共に支え協力し、お互いの思いを職員はさりげなく伝えている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が親しくしていた友人に会いに行ったり、訪問頂いたり、また、墓参りやショッピング等なじみの場所、思い出の場所に行き、関係が途切れないよう努めている。	家族の協力を得て、本人の希望する場所に行ったり、散歩の際に近隣の方々となじみの関係を作ったり、意識的に関係継続の支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者のそれぞれの個性を理解した上で助け合い、支えあっている。 孤立する場合は職員が間に立ち、良い関係が築いていけるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された利用者に対しては、お見舞いに行き交流を持つように心がけている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の日々の行動や表情、何気ない会話の中から希望を把握するよう努めている。本人の立場にたって考え、家族や関係者の情報も活用し検討している。	利用者の希望や意向の把握には、常に気配りを行っている。現在、利用者は、月に2回来訪するパン屋さんを楽しみにしている。また、家族から情報を得て、本人の好みの音楽を居室で聴けるような支援もしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居後の面会時に、センター方式の一部を使用し、利用者の暮らし方、生活環境を把握し、全職員で共有し、本人に合ったサービス提供になるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの状態、残存機能、これまでの生活習慣や生活歴等を把握し支援に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族も一緒に話し合いながら介護計画を作成し、必要に応じてモニタリングをし、現状に即した介護計画を作成している。	各利用者ごとに担当者がいるが、介護計画やモニタリングは、家族の意見も聞きながら全員で実施し、計画作成担当者がまとめている。担当者に利用者の絵を描かせ、観察眼を養うなどユニークな取組も行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録やチェック表など個別に記録して、月2回の職員会議で話し合い、情報を共有しながら介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族の状況に応じて病院受診などを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアなどによる慰問がある。消防機関への防災訓練の要請を行い実施している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望する医療機関を利用している。 月に1回の訪問受診、急変時の対応など適切な医療が受けられる。	多くの利用者は、協力医を掛かりつけ医としているが、町立病院を掛かりつけとしている利用者もいる。協力医が密にかかわっており、医療への安心感がある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関の看護師への相談にて適切な受診が行えるよう相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の情報交換は密に行い、適切な治療が行われ、早期退院できるよう家族と共に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期には、医師、看護師と本人、家族と十分な話し合いを行い、ケース記録に残すなど、全員で方針を共有できるようにしている。 必要時には、適宜説明を行っている。	重度化や終末期への対応は、家族・利用者の意向に応じ、看取り行っている。病院・家族の協力の下、ホームとしても十分な事前準備をし、また、事後の反省会も行っている。当時の綿密な記録が残されていた。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の協力を得、救急救命AEDの取り扱いの研修を定期的に行い、実践対応に備えている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て、年に2回防災通報訓練を実施している。 運営推進会議でも地域の方々と災害について話し合いをしている。	ホームは高い場所にあり、水害の心配はない。火災についてはスプリンクラーの設置を予定しており、消防との訓練の実施や近隣住民との協力関係を築くなど、備えをしっかりと行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格や誇りを損なわないような言葉かけや対応がないように細心の配慮をしている。	利用者の人格や誇りを損なわない気遣いは十分にしているが、「なれ」を防ぐ意識づけを職員会議等で定期的に行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望は傾聴するように心掛け自己決定に向けて配慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望や状態に応じて、できるだけ自分のペースで暮らせるように柔軟に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人好みの身だしなみを心掛けている。 理美容は馴染みの店を利用されたり、家族の方が訪問時に散髪を行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方に合った食事形態で提供し、できるだけ自己摂取できるよう工夫している。 調理、片づけも一緒に行い、職員は同じテーブルを囲んで楽しく利用者と食事がとれるようにしている。	一人ひとりに合わせた食事の工夫がみられ、職員がさりげなくサポートしていた。下げんや食器洗いも一部の利用者とともにしている。静かな雰囲気でも和やかな食事風景であった。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂取量、水分量の状況を記録し、職員が情報を共有している。 月に1回の体重測定実施、状況によっては主治医へ報告、相談している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを実施している。自力で出来ない方は介助を行っている。 週に1度、義歯洗浄剤にて義歯洗浄を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の行動、サインを読み取り、トイレ誘導し、トイレでの排泄に繋げている。 チェック表から排泄パターンを活かした誘導を行っている。	排泄のチェックリストのデータを活用したり、利用者の様子を見て早めの誘導をしている。 ポータブルトイレの使用で、排泄の自立支援につなげた例もあり、可能な限りオムツを少なくする努力をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便のサイクルを把握し、水分量や食事、体操、散歩などで予防を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	体調など状況に応じ、できるだけ本人の希望に沿うように支援している。 拒否のある場合は、無理強いせず時間をずらしたり、翌日に変更するなど対応している。	入浴は週に2回が標準であるが、お風呂が好きな方は3~4回のこともある。入浴が難しい場合は、会話をしながら足浴を楽しんでもらうなど、工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の状態や訴えに応じて、休息出来る時間を設定している。 夜間気持ちよく安眠できるように、日中の活動を促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員は利用者が服用する薬の目的や用法・用量を周知しており、一人ひとりが医師の指示通り服用できるよう支援している。 薬の変更時は、申し送りノートにて確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や習慣等を大事にしている。 日常生活の中で役割を見つけ張りあい繋げている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	帰宅願望のある方や、よく外へ出られる方については散歩や買い物と一緒に掛かけたりしている。 また、家族の協力を得て遠出や墓参り等に掛かけている。	できるだけ散歩をするようにしている。現状では全員での外出は無理であるが、ベランダに花を持ち寄って、手作り弁当で花見を楽しむことや、家族の協力を得て墓参りをするなど、出かけるための工夫、支援をしている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員が管理しているが、買い物時には支払いを一緒に行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があれば、いつでも電話をかけたり、取り次いだり、家族や親しい人と連絡が取れるよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中は馴染みの音楽が流れゆっくり過ごせる雰囲気がある。 季節感が味わえるよう玄関、食堂には常に季節の花を活けている。	明るい広間には、さりげない音量で聞きなれた音楽が流れており、壁面には利用者の作品や小学生からのお礼の手紙が工夫して飾られている。暖かい室内は、気持ちがほっとする雰囲気を醸し出している。また、屋外には数多くのプランターに季節の花々がきれいに咲いていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールのソファでは、家庭的な雰囲気でも安心感もあり、利用者一人でも、又、気の合った利用者同士でも自由に過ごせる居場所として工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には家族の写真、鏡台、使い慣れた日用品が持ち込まれ、その人らしく安心して過ごせるように配慮している。	居室は簡素であるが、使い慣れた家具が機能的に配置されており、個人の状況に合わせて和室・洋室が用いられている。落ち着きのある雰囲気が感じられた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室やトイレの目印や表示をしたり混乱を防ぐようにしている。		